

# テーマは、希望、寛容な心、そして子どもたち

— ラリー・ワインスタイン監督



ホロコーストとは？

第二次世界大戦時、ナチ・ドイツとその占領下のヨーロッパで起きた虐殺。約600万人のユダヤ人が殺され、そのうち約150万人は子どもだった。障害者や同性愛者、ロマの人々も犠牲となった。

2000年春、虐殺の地アウシュヴィッツから東京のホロコースト教育資料センター(Kokoro)に届いた大きな旅行かばん。「ハンナ・ブレイディ 1931年5月16日生まれ 孤児」と大きく白いペンキで書いてあった。「ハンナって、だれ？」かばんを見に来た子どもたちは、一つの命に思いをめぐらせた。この子どもたちの疑問がきっかけとなり、Kokoroで調査が始まる。すると、ハンナには家族でただ一人奇跡的に生きのびた兄がいたことが分かり……。半世紀の年月と国境を越えて生まれた出会いの物語。世界的なベストセラーとなり、「ハンナのかばん」は現在、日本全国の学校を訪問している。制作 チェコ、カナダ、2009年 | 監督 ラリー・ワインスタイン | 90分、日本語字幕

「映画に登場する子どもたちと同じように、みなさんも人間としてきわめて重要な学びに気付かされることでしょう。人の痛みを知り、思いやる心を持つこと。記憶することの大切さについて。」

エリ・ヴィーゼル (ホロコースト生還者、ノーベル平和賞作家)



2018年9月20日(木)  
ドキュメンタリー映画「ハンナのかばん」上映会  
参加申込方法

- ①下記のホームページからお申込みください。  
<https://www.npokokoro.com/0920> →
- ②お申込みいただいた方に、参加費1,000円のお振込み方法をご案内します。
- ③お振込みの確認をさせていただきましてから、受付完了のご連絡をさせていただきます。



参加者募集中 2018年12/23(日)～30日(日)

## ポーランドとチェコ8日間の旅「ハンナのかばん」の足跡をたどる

NPO法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)は、すべての人の命と人権を大切にしたいと願い、子どもたちと共に差別や偏見の愚かさ、命や人権の大切さを学んできました。今秋、Kokoroは団体立ち上げから20周年を迎えます。この節目に、アウシュヴィッツ、テレジン、プラハを訪ねるスタディツアーを実施します。歴史の現場に立ち、日本を、世界を、一緒に考えてみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。<https://www.npokokoro.com/>

旅行期間	2018年12月23日(日)～30日(日)8日間
旅行代金	322,000円～ ※代金の他に燃油付加運賃などがかります
定員	25名(最低実施人数10名)
締切	11月22日(木) ※定員になり次第、締め切ります
企画	NPO法人ホロコースト教育資料センター

今後の映画上映会スケジュール

- ▶9/29(土) 「イレナ・センドレローヴァ物語」
- ▶10/27(土) 「ハイドリヒを撃て」

※会場は富士国際旅行社